

Contents

1. 総会・予餞会のご案内
2. インカレ結果報告
3. インカレ及び年間総括
4. 2018IWF世界選手権を終えて
5. 新体制のお知らせ・主将抱負
6. メール配信にご参加をお願いします
7. OB忘年会模様・ミニOB会案内
8. 競技会成績



<インカレ終了後、4年生集合写真>

総会・予餞会のご案内

今年度の総会ならびに予餞会を下記のとおり開催いたします。

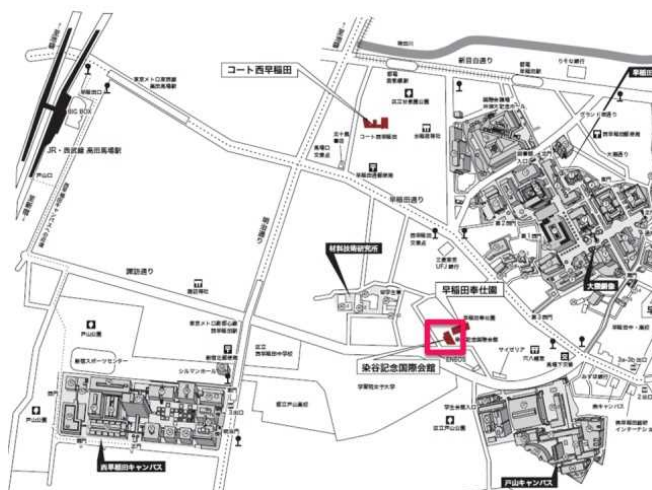
先輩の皆さまには万障お繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

- 1. 日時**
2019年3月21日 (木)
2018年度 総会 13時30分～14時30分
予餞会 15時00分～17時00分
- 2. 場所**
染谷記念国際会館 (新宿区西早稲田 2-3-4)
- 3. 議題**
 - ・2018年度活動報告及び収支決算報告
 - ・代表委員及び常任幹事の選任について
 - ・会則の見直しについて
 - ・2019年度活動計画及び収支予算案 他
- 4. 会費**
5,000円 (予餞会)

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。
なお、準備の都合もございますので、ご出席いただけます方は主務・OB係までご一報ください。

《連絡先》

早稲田大学ウエイトリフティング部
主務 田中裕也 (3年)
OB係 後藤虹海・山口千尋 (1年)
電話/FAX 03-3202-1090



インカレ結果報告

12月14日～16日、埼玉県上尾市のスポーツ総合センターで男女のインカレ I 部が開催されました。男子は団体戦で6位入賞。連覇を狙った女子は金沢学院大学に6点及ばず第2位となりました。

第64回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(1部)

階級	選手名	学部 学年	体重	BEST						TOTAL			合計 得点
				S	順位	得点	J	順位	得点	記録	順位	得点	
M56kg級	知念勇斗	ス4	55.7	104	3	6	131	2	7	235	3	6	19
M62kg級	吉田旭	社3	61.55	98	10	0	127	8	1	225	9	0	1
M69kg級	知念勇樹	ス2	68.86	119	4	5	153	4	5	272	2	7	17
	木村勇喜	ス2	68.76	121	2	7	148	5	4	269	5	4	15
M77kg級	永迫竜矢	ス4	76.7	127	4	5	151	7	2	278	6	3	10
M94kg級	神田悠斗	社4	93.16	121	9	0	151	11	0	272	11	0	0
M105kg級	池田祐介	社4	99.85	135	5	4	163	5	4	298	4	5	13
	岡村幸尚	社1	97.2	122	1	1	156	7	2	278	8	1	4

第19回全日本大学対抗女子ウエイトリフティング選手権大会(1部)

階級	選手名	学部 学年	体重	BEST						TOTAL			合計 得点
				S	順位	得点	J	順位	得点	記録	順位	得点	
W48kg級	鈴木梨羅	ス2	45.15	66	2	4	90	1	5	156	1	5	14
W53kg級	安嶋千晶	ス4	52.42	74	1	5	95	2	4	169	2	4	13
W69kg級	戸田妃乃子	ス2	65.55	83	4	2	103	4	2	186	3	3	7
W75kg級	柏木麻希	ス4	74.55	91	1	5	112	2	4	203	2	4	13
W90kg級	田中季恵	ス4	87.34	85	3	3	111	2	4	196	2	4	11
W+90kg級	佐熊汐梨	社1	90.38	75	4	2	100	4	2	175	4	2	6

【学部表記凡例】 ス：スポーツ科学部 社：社会科学部



〈M56kg級 知念選手〉



〈M77kg級 永迫選手〉



〈M94kg級 神田選手〉



〈M105kg級 池田選手〉



〈W53kg級 安嶋選手〉



〈W75kg級 柏木選手〉



〈W90kg級 田中選手〉

インカレ及び年間総括

吉岡監督に今年度の振り返りとともにインカレを総括してもらいました。

2018年度は、チーム力と4年生の力がいかに重要か、痛感させられた一年だった。

東インカレでの惨敗を受け、その試合後の集合における指導陣、OBによる叱咤激励。その雰囲気は忘れない。

立ち直すきっかけとなったのが、ここ数年恒例となった夏解散後の清水ナショナルセンターでの集合合宿である。独自の合宿所を持たないわが部にとって「同じ釜の飯を食う」チーム意識の醸成が図られた。その中でも男子・神田悠斗(主将)と女子・田中季恵(副将)を中心とする4年生9名の統率力を垣間見ることができた。さらには1996年アトランタ・2000年シドニーのオリンピック2大会出場の池畑大氏を特別コーチに招いて指導を仰ぎ、部員一人ひとりの考え方にも変革を見ることができた。

後半戦、さらに部の気運醸成を生むきっかけとなったのが、知念勇斗(4年・M56kg級)と鈴木梨羅(2年・W48kg級)2人の世界大学チャンピオンが誕生したこと。それに続く早慶定期戦での通算60回目の優勝があげられる。

その「良い流れ」を意識できたインカレは、男子が「6位入賞」、女子が「第2位」と、結果だけ見ると昨年よりも見劣りするものになってしまった。試合結果の詳細は既出のとおりであるが、しかしその中身は1試技1試技にドラマがあり、情熱があり、努力があった。

監督として初めてのインカレであったが、いかに試合は監督ひとりでするものではなく、選手・コーチ・OBが一体とならなければ結果が生まれないことを肌で感じた。監督としてまた一人のOBとして、この雰囲気を生んでくれた4年生、そして共に奮闘した部員たちにこの場を借りて感謝を申し上げたい。

2019年度からは、階級変更に伴ってインカレ団体戦は男女ともに増員となる。そのルールにいち早く対応し、「覇者」となるべく結果を求めて邁進していく所存である。

諸先輩方には益々のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

吉岡史生 (監督・H13卒)



<インカレ終了後の集合写真>

2018IWF世界選手権を終えて

11月にトルクメニスタンで行われた世界選手権大会にOGの松本潮霞選手と見附絵莉選手が出場しました。試合を終えての感想を寄せていただきましたので結果とともにご紹介いたします。

2018 IWF World Championships						
階級	選手名	学部 学年	BEST		TOTAL	
			S	C&J	記録	順位
W64kg級	松本潮霞	H.26卒 ALSOK	93kg	111kg	204kg	25位
W71kg級	見附絵莉	H27卒 大阪府警	90kg	117kg	207kg	14位



平成26年卒の松本潮霞です。応援ありがとうございました。
今回の世界選手権は、2016年のリオ五輪出場後初めての国際大会でした。2017年は怪我で1年間リハビリ。2018年は東京五輪に向けて良い再スタートを!! と取り組みましたが、結果に繋げることができませんでした。

試合後は自信も失いましたし、たくさん悩みましたが、すぐに今が変わるチャンスだ! と気付かされました。帰国後から岡田部長に相談し、新たな挑戦をしています。

なんとしても、もう一度オリンピックに出たい。早稲田ウエイトリフティングの歴史に残る選手になりたい。

東京五輪への道は険しいものになりますが、2019年も戦い抜きます! 今後とも応援よろしくお願いします!

松本潮霞 (H26卒)

平成27年スポーツ科学部卒の見附絵莉です。

私は昨年、トルクメニスタンで開催された世界選手権大会に71kg級の選手として出場しました。スナッチはベストの6kg下でしたが、ジャークでは自己ベストを更新することができました。苦手だったジャークの記録を伸ばすことができたのに対し、得意のスナッチで結果を出すことができず、試合全体としては納得のいくものではありませんでした。

選手としてまだまだ未熟な部分が多いので、これからさらに自分自身の強化に専念していきたいと思います。

皆さまの応援のおかげで今も現役で頑張っております。いつもありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。

見附絵莉 (H27卒)



(写真：日本ウエイトリフティング協会／早稲田大学ウエイトリフティング部 Facebook公式ページより転載)

新体制のお知らせ・主将抱負

吉田主将を中心に部の新体制が始動しました。

主将	吉田旭（社会科学部3年）
副将/女子主将	新川百音（スポーツ科学部3年）
主務	田中裕也（スポーツ科学部3年）

主将、女子主将に新年度の抱負を伺いました。皆さま、応援よろしく願いいたします。

主将 吉田旭

このたび早稲田大学ウエイトリフティング部主将になりました、吉田旭です。

今年度のチームスローガンは、「目標を共有し、24時間繋がるチーム」です。1つの目標に向かってチーム一丸となって活動していくには、それぞれが団体・個人としての目標や情報を共有し理解した上で、全員が同じ方向を向くことが必要不可欠です。

また、毎日の練習に本気で取り組む部員が増えてきましたが、練習場以外でもそのような姿勢で取り組むことができれば、自ずと個人の力はさらに伸びるはずです。

そして、4月からはさらに部員の数が増えますが、人数に比例してチーム早稲田らしい雰囲気の良い団体としての力を、部員同士の繋がりによって高めていきます。

新体制にはなりますが、これまで先輩方が作り上げてきたチームの土台を引き継いで、より良いチームになるよう誠心誠意取り組んでいきます。

女子主将 新川百音

早稲田の部員数は年々増えて、益々活気が出てきました。個性豊かで、自分の意見を言える環境にあるところが早稲田の強みだと私は思います。

昨年のインカレでは目標としていた団体連覇を達成することができず、チームとして悔しい結果となってしまったので、今年こそは団体優勝を成し遂げたいです。この「団体優勝」という目標を達成するためには、一人ひとりが目標に向かって努力することが必要不可欠です。

ここ最近では、練習後に自主練習を行う部員もおり、高い意識を持つ選手が多くいます。今年はさらに個人、チームともにパワーアップした早稲田になると思います。

私自身、同学年に女子がいない分、男子の同期や後輩たちとしっかりコミュニケーションをとり、女子主将として、チームをまとめ引っ張っていけるよう精一杯、自分らしく頑張ります。よろしく願いいたします。

メール配信にご参加をお願いします

クラブニュース等の広報活動について、Webサイトやメールでご覧いただく形に切り替えていきたいと考えております。当会のWebサイトは、インターネットで「稲門ウエイトリフティングクラブ」を検索してください。

また、メールで最新ニュースや試合情報など早稲田大学ウエイトリフティング部や当会の活動状況をタイムリーにお知らせしています。

クラブニュース郵送に伴う経費等の削減を目指しておりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。（メール配信は現在149名の方にご参加いただいています）

【メール配信参加申込先】 twc@coffee.ocn.ne.jp（幹事長 野中弘一）

【当会Webサイト】 <http://twc.server-shared.com/>

OB忘年会模様・ミニOB会案内

今年も12月14日（金）に源兵衛でOB忘年会を開催しました。

参加者は昭和43年卒～昭和51年卒の15名＋平成元年卒1名で総勢16名。当日はインカレの初日でもあり、[以下、敬称略]上野・谷川・森(武)・高橋(明)・野中の5名は上尾での応援から駆けつけ参加。

17時に忘年会スタート。毎度のことながらお互い年を取ったことや近況報告などで話の花が咲き、気が付けば3時間を超える盛会に。宴半ばで谷川から熱海1泊でミニOB会開催の提案があり、参加者全員が賛同。時期は改元前、平成のうちに、ということで4月9日(火)-10日(水)で決定。

終わり間際に三浦が合流、間に合ってよかった。次期代表委員候補の岩永の発声で、4月ミニOB会での再会を約して締めとなりました。

【参加者】

S43年卒：中田 S44年卒：内村・村岡 S45年卒：上野・岡田(正)・谷川・林・森(武)・三浦

S46年卒：高橋(明) S47年卒：岩永 S49年卒：岡田(文)・高橋(敏)

S51年卒：石橋・伊藤 H01年卒：野中



★熱海1泊ミニOB会のご案内★

期日： 4月9日(火)-10日(水)

場所： 熱海温泉 古屋旅館 アクセス： JR熱海駅 徒歩15分 タクシー5分

<https://atami-furuya.co.jp/>

スケジュール：

4月9日(火)

14:30 チェックイン 部屋利用可

15:00 参加者集合

17:30 宴会（ミニOB会）

4月10日(水)

11:00 チェックアウト

参加費： 10,000円

創業1806年の老舗旅館です。現在、昭和42年卒～昭和51年卒の約20名が参加予定。日帰りで宴会のみ参加される方も3名います。参加ご希望の方はミニOB会幹事・谷川までお早めにご連絡ください。

早稲田大学でウエイトリフティングを通じて共に鍛えた体力と精神の思い出を語り合いましょう！

谷川吉史 (S45卒)

参加申込連絡先： *****@*****.***

競技会成績



<レディースカップのW69kg級で1位・2位・3位を早稲田OGが独占>

レディースカップ 第10回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会

階級	選手名	学部学年 卒業年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			トータル	順位
				1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目		
W53kg級	安嶋千晶	ス4	52.2	70	73	76	90	94×	96	172	1
	奥村紀香	ス1	52	63	66	69	73	76	79	148	5
	新川百音	ス3	51.7	55	58	62	78	82	86×	144	7
W58kg級	山口千尋	ス1	57.15	68	71	74	83	86	90	164	5
	本澤瑞紀	社2	57.9	63×	63	65	82×	82	85	150	8
W63kg級	後藤虹海	社1	61.8	60	63	66	80	84	86	142	6
W69kg級	見附絵莉	H.27年卒	68.4	88	91×	91	112	112×	115	206	1
	松本潮霞	H.26年卒	65.6	85	90	93	105	110	112	205	2
	吉野千枝里	H.25年卒	69	85×	85×	85	108	112	116×	197	3
	戸田妃乃子	ス2	65.15	75	79	83×	95	100	105	184	6
	西村深聡	ス1	66.75	74	77	79	98	101	103	182	7
W90kg級	田中季恵	ス4	87.15	78×	78	81	98×	98	103	184	3
	佐熊汐梨	社1	86.75	65	70	74	85	97	97	171	6

【学部表記凡例】 ス：スポーツ科学部 社：社会科学部

内閣総理大臣杯 第55回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会

階級	選手名	学部学年 卒業年	体重	スナッチ			クリーン&ジャーク			トータル	順位
				1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目		
M56kg級	黒江雄治	H.23年卒	55.95	91	94	96×	106	111	116×	205	4
M69kg級	生頼佑馬	H.28年卒	69	110	120	123×	130	135	140×	255	3
M77kg級	生頼永人	H.30年卒	71.9	128	132×	132	166	171	178×	303	2
	三浦宏也	H.25年卒	76.25	107	110	113	144	148	152	265	7
	田原良平	H.19年卒	75.05	90	94	97×	120	125	127	221	15
M94kg級	菅野真央	H.28年卒	93.3	133	138	141	150	160	166×	301	5
	堀井勇也	H.27年卒	92.9	100	105	110×	120×	120	140×	225	22
M105kg級	武田健	H.29年卒	100.7	100	107	112×	145	151	160×	258	8